

山田駅前に 青少年拠点施設、子育て支援及び 山田駅前図書館の建設

吹田市議会の12月定例会は、12月4日から24日までの会期で開催されました。

日本共産党からは、**山根たかし議員**が代表質問を、**竹村博之議員**、**塩見みゆき議員**、**柿原まき議員**が個人質問をそれぞれ行いました。



12月議会で取り上げた主な市民要望

- 現在の金融危機のもとで、市内中小業者のための対策本部を設置・国の緊急総合対策に加えて低所得者独自支援
- 市道泉町16号線、南吹田37号線を工事に使用する事は生活道路であり、住民合意なしに許可するな
- 障害者、母子、高齢者、子どもの福祉4医療の改悪しないように
- 学校校舎の耐震補強工事を積極的にすすめよ
- 保険が適用されない「不妊治療」に市独自の助成制度を
- 江坂駅周辺の自転車駐輪対策、江坂駅北側のエレベーター設置
- 市道樋切山・千里丘線の安全対策を
- 障害児の日中一時支援の実施を早急に
- 生活が苦しくて学び続ける事が出来ない学生が増えている「市独自の大学奨学金」の創設を
- 第4期高齢者福祉計画・介護保険事業計画は事業者の実態調査をすすめ事業者への支援と介護労働者の待遇改善を

「大学における高学費問題の改善を求める国への意見書」を



可決

大学における高学費問題の改善を求める意見書
約130万円であり、こうした高学費の下で学生は苦しんでいる。また、学費負担が困難であることを理由に、大学で学ぶ機会そのものを奪われてしまうという事態が起こっている。大学の高学費の原因は、国の高等教育予算が低いことにある。日本の高等教育予算是OECD加盟国中最も低い。さらに、2009年（平成21年）の国の概算要求水準では、国立大学の運営費交付金と私学助成費などの削減額が3%に拡大されようとしている。
現在の高学費問題を放置することは、ますます学生の大学における成長が経済的状況によって制限されることになる。これは学生個人にとっての問題であるばかりではなく、将来の社会を担う誰もがお金の心配をせず、学ぶことができるよう、この問題の解決が強く望まれる。
本市議会は政府に対し、現在の大学の高学費を改善し、学生の学費負担を軽減するため、下記の事項を強く要望する。
記
1 国立大学の運営費交付金を増やし、授業料と入学金の標準額を引き上げせず、僅下げに踏み出すこと。

10月22日に大阪大学をはじめとした、「学費ゼロネットOSAKA」の皆さんと議員団と懇談しました。「大学院の学費が高いので進学を迷っている」「もっと勉強に集中したいけど生活のためのバイトがあるので大変」などの切実な声が寄せられています。

12月議会では全会派一致で意見書を可決しました。

「花とみどりの情報センター」の指定管理は議案撤回！

指定管理者制度は小泉改革ですすめられた「民営化」方式のひとつです。吹田では地元自治会、NPO団体などに限定していましたが、今回の更新で「株式会社」も参入を認めるなど民営化を拡大しました。

「花とみどりの情報センター」の「選考指針」では、6項目の合計で最高得点者を選ぶと定めています。施設管理公社が総合得点で1位であったにもかかわらず、2位となった民間の会社を「同点」と見なし、選考委員による「決戦投票」で、後者を1位に逆転させていました。

日本共産党は、この選考の誤りを指摘し、認められないと主張。日本共産党以外の委員からも同様の意見があり、理事者から「原案撤回」の申し出があり、撤回となりました。

公的責任放棄につながる
「市立勤労青少年ホーム」の指定管理には反対

生活
相談

働き方 雇用 福祉
くらし 教育 のことなど
こまつたらいつでもお電話を



- 議員団控室相談……06-6337-6853
- 地区委員会相談……06-6381-1112
- あべ府政事務所相談……06-6382-0647

法律相談……………第2・第4木曜日 要予約
マンション相談……………第1木曜日